

たけガード工法(地表設置)手順

防竹効果を最大限に発揮するには設置方法も重要です。

防竹(地表)用



① 竹や雑木などを地際まで伐採

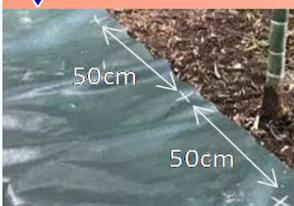
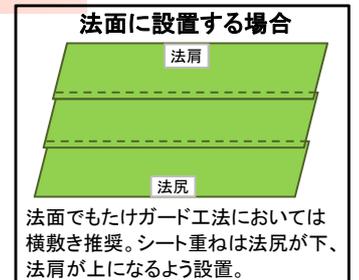
シートを敷設する前に、対象区域の竹を地際まで伐採してください。地際まで伐採していないとシートを破損する恐れがあります。また、竹の稈(かん)が長いと不陸が大きくなるため、可能な限り地際から伐採をお願いします。左記の画像のように、地際から3cm以下を目安に伐採してください。



② たけガードシートを拡げ設置する(重ね10cm以上)

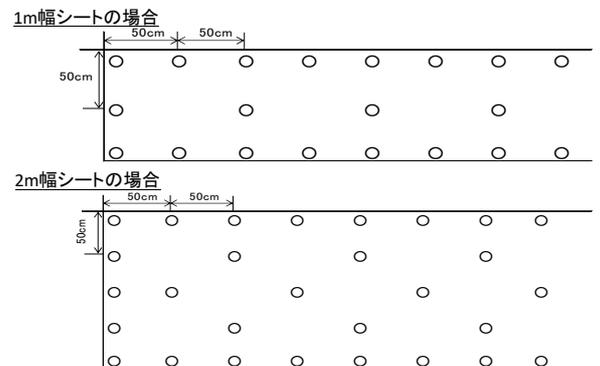
シートは地面に転がした面が表となります。一度に広げすぎると、風に煽られ作業性が悪くなる場合があります。

1. 風向きを考慮してシート重ねの上下を決定してください。
2. 重ね部分は10cm以上設けてください。端部にU字溝やブロックなどの構造物がある場合にも10cm以上の重ねを設けてください。
3. 障害物がある場合はシートをカットして対応してください。



③ たけガードアンカーで固定

平面部のシート端部に50cm間隔、シート中央部は100cm間隔で打設します。ピンの向きを右方向または左方向に統一し、斜めに打ち込んでください(別紙“たけガードアンカーの打設方法”参照)。



④ たけガードテープ(□10cm)を固定ピンの頭部に貼付ける

ピン周りの砂埃を払い、たけガードテープ(□10cm)をピン頭部に貼り付けます。
※ピン頭部がテープの対角線上にくるよう、貼り付け位置を調整してください。

四隅は砂埃がたまりやすいため、剥がれないようしっかりと押し付けてください。
※施工面が濡れていると接着不良の原因になります。



⑤ シート端部、重ね部の接着処理

1. 設置部の砂埃を払い、たけガードシートを10cm以上重ねて接着させてください。
2. アタッチをシート際からはみ出さないよう塗布し、シートにねじ込ませるように手で押さえてください。
3. シート重ね部分には、たけガードテープを貼り付けてください。

※構造物際(アスファルト及びコンクリート舗装)についてはアタッチ処理のみとし、たけガードテープの処理は不要です。

※端部処理後にシート上を歩くと接着部分が剥離する可能性があります。接着処理は最後の工程とし、作業後は施工面を歩かないでください。

※施工面が乾燥しているのを確認して施工してください。(濡れていると接着不良の原因になります)



⑥ 完成

たけガードアンカーの打設ミスや、たけガードテープの貼り忘れが無いか確認し、問題が無ければ完成です。

※画像はイメージです。